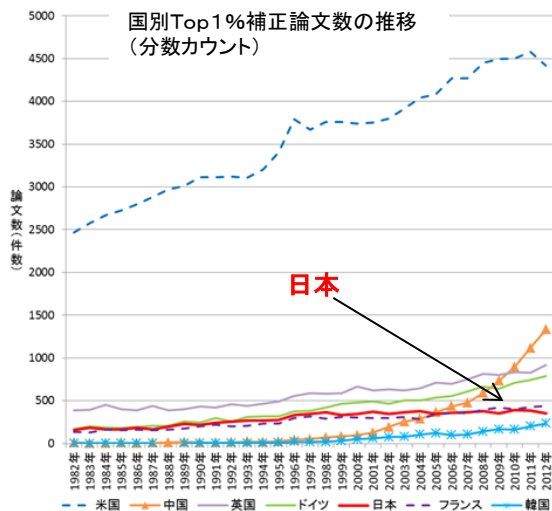
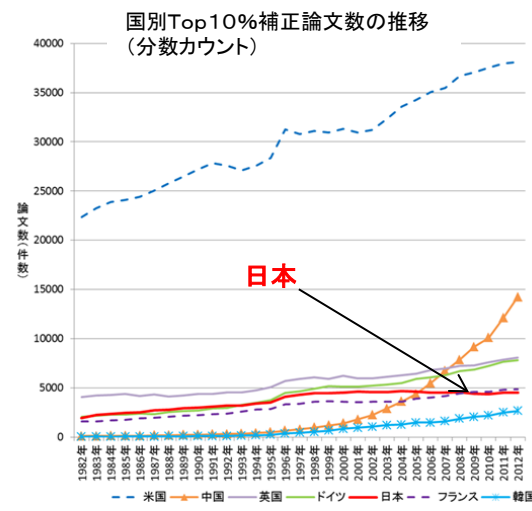


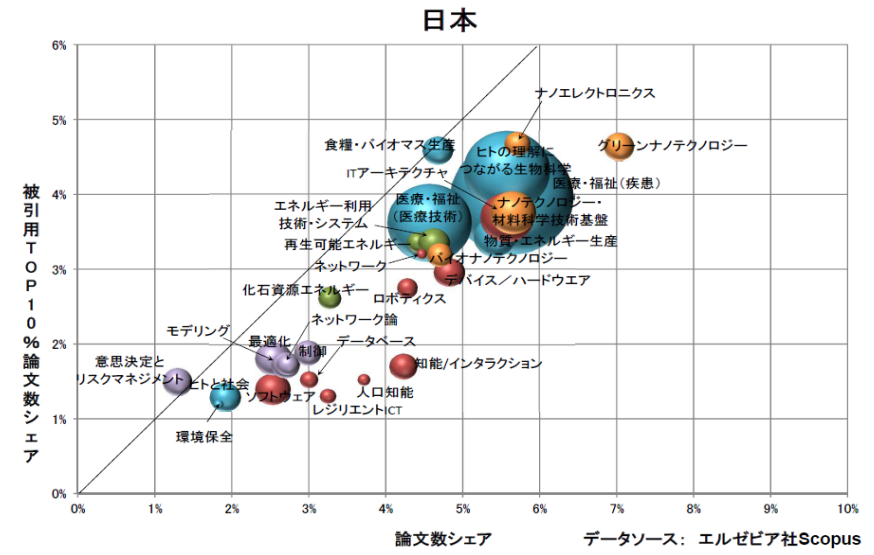
# 我が国の現状④ 我が国の基礎研究力の低下

・引用度の高い論文数が、海外主要国では増加しているのに  
対し、日本だけが低迷。



(出所)NISTEP「科学技術指標2014」を基に、経済産業省が作成

・殆ど全ての分野において、世界の論文数シェア  
に比べて、トップ10%論文数シェアの方が低い。



(出所)JST/CRDS研究開発の俯瞰報告書(2013)

日本	全体			化学			材料科学			物理学			計算機科学・数学			工学			環境・地球科学			臨床医学			基礎生命科学			
	ALL	Top10	Top1	ALL	Top10	Top1	ALL	Top10	Top1	ALL	Top10	Top1	ALL	Top10	Top1	ALL	Top10	Top1	ALL	Top10	Top1	ALL	Top10	Top1	ALL	Top10	Top1	
1																												
2																												
3																												
4																												
5																												
6																												
7																												
8																												
9																												
10																												
11																												
12																												
13																												
14																												
15																												
16																												
17																												
18																												
19																												
20																												

1999-2001年の日本の位置 → 2009-2011年の日本の位置

(出所)NISTEP 日本の大学における研究力の現状と課題(2013)

注: article, letter, note, reviewを分析対象とし、整数カウントにより分析。3年移動平均値である。Allは全論文における日本の順位、Top10はTop10%補正論文数における日本の順位、Top1はTop1%補正論文数における日本の順位をプロットしている。トムソン・ロイター社 Web of Scienceを基に、科学技術政策研究所が集計  
 出典: 科学技術政策研究所 「科学研究のベンチマーキング2012」 調査資料-218

・殆どの学術領域において、近年、  
被引用度の高い論文における世界  
ランキングが低下する傾向。